Ad

京大、土壇場で追いつき連敗ストップ　医学部4年でU23日本代表SO大鶴主将が同点PG　立命大との定期戦（2/2ページ）

2026/06/21 20:30

国内　#大学ラグビー　#ラグビーリーグ

大鶴主将は今年1月、将来の日本代表選手の育成を目的とする日本協会のプロジェクト「JAPAN TALENT SQUAD（ジャパン・タレント・スコッド＝JTS）」に一般公募で合格。4度の合宿を経てU23日本代表に選ばれ、4月のオーストラリア遠征に参加し、1試合に途中出場した。

お客様の使いやすさ、利用状況の分析、興味・関心度の高い広告配信のために、端末情報等を利用しています。詳しくは「利用規約」をご覧ください。

閉じる



ロスタイムに引き分けに持ち込んだ立命大戦後、後輩の大型ルーキー上杉悠太（左）とともに充実の表情を浮かべる京大SO大鶴誠主将（撮影・月僧正弥）

幼いころからの夢が日本代表になることで、今後は医師になるための勉強に励みながら選手としての飛躍も目指す。「最終的には医師になりたいが、チャンスをいただけるのなら（ラグビー選手としても）頑張りたい」と目を輝かせ、「チームの今季の目標はAリーグ昇格。個人としては、このチームの勝利に一番貢献すること。それを目指し、成し遂げた先に僕自身のラグビー選手としての未来も開けると思う」と奮起を誓った。

この試合では、大阪府内屈指の進学校として知られる天王寺高時代に右PRとして2年時にU17（17歳以下）日本代表、3年時には高校日本代表候補に選ばれ、この春、1浪して京大工学部に入学した上杉悠太（1年）がNO・8で出場。180センチ、115キロの巨体を生かした力強い突進を見せるなど大器の片りんをのぞかせた。

■大鶴　誠（おおつる・じょう）2004年6月5日生まれ、22歳。兵庫・西宮市出身。3歳から競技を始め、小4から中3まで在籍した芦屋ラグビースクールでは全国大会に出場。灘中、灘高を経て現役で京大医学部に入学。家族は両親と兄と妹。ラグビー経験者の父・繁さんは医師で京大教授。3歳上の兄・健さんは京大医学部6年で24年度のラグビー部主将も務めた。

作成者：月僧正弥

シェアする
最新のニュースやお得な情報を受け取ろう
フォロー　フォロー　iPhoneにも対応プッシュ通知

あなたにオススメ

- 田中史朗さん、山口良治さんを偲び「第二の父が亡くなったような思い」思い出の会話は「おっちゃん、アイス食べる？」
- 林敏之さん「うれしくて先生に抱きついた」山口良治さんの言葉に…
- 阪神に緊急事態か　森下翔太が途中交代
- 元朝青龍「亡くなった事に最近知りご冥福祈ります」
- 大八木淳史氏、恩師山口良治さんの思い出は「おまえラグビー部入れ」別れの会出席

お客様の使いやすさ、利用状況の分析、興味・関心度の高い広告配信のために、端末情報等を利用しています。詳しくは「利用規約」をご覧ください。


朝食抜くならこれ食べて。1本50円の食べる記憶力維持対策がすごい


外壁塗装って10年に1度必要？塗装業者が教えてくれない外壁塗装を安くする方法とは？


「日本株は今が仕込み時です。」絶対買うべき厳選3銘柄を元みずほ証券幹部が発「